

k/d. 腎臓病



- 腎不全を悪化させる尿毒症、高リン血症を考慮して蛋白質とリンを制限
- 腎疾患により失われやすいビタミンB群を強化
- 可溶性繊維が腸内環境を整えることで、窒素性化合物の吸収を減らし、腎疾患を栄養学的に管理
- 腎疾患に配慮してオメガ-3脂肪酸を配合し、ナトリウムを制限
- ❖ 心臓病の管理にも適応

g/d. 初期の腎臓病



- リンを制限することで、腎臓の健康維持に配慮
- 上昇傾向の血圧に配慮してナトリウムを制限
- ❖ 腎臓および心臓の機能が低下傾向にある高齢期の健康維持にも適応

u/d. 重度の腎臓病

- 腎不全を悪化させる重度な尿毒症、高リン血症を考慮して蛋白質とリンを制限
- 可溶性繊維が腸内環境を整えることで、窒素性化合物の吸収を減らし、腎疾患を栄養学的に管理
- 腎疾患に配慮してオメガ-3脂肪酸を配合し、ナトリウムを制限
- ❖ シュウ酸カルシウム、尿酸塩およびシスチン尿石症の管理にも適応



ヒルズのプリスクリプション・ダイエット
腎臓病管理用フード

k/d. g/d. u/d.

※獣医師の指示にしたがって与えてください。

k/d. 腎臓病

- 〈犬用〉 ドライ 1kg, 3kg
缶詰 370g
- 〈猫用〉 ドライ 500g, 2kg, 4kg
缶詰 156g
パウチ 85g



g/d. 初期の腎臓病

- 〈犬用〉 ドライ 3kg
缶詰 370g
- 〈猫用〉 ドライ 500g
缶詰 156g



u/d. 重度の腎臓病

- 〈犬用〉 ドライ 1kg, 3kg
缶詰 370g



病院名



ヒルズのプリスクリプション・ダイエット
米国産 ドライ製品は、すべて
自然派成分で酸化防止しています。



販売元
日本ヒルズ・コルゲート株式会社
〒135-0016 東京都江東区東陽3-7-13



販売総代理店
大日本住友製薬株式会社
〒553-0001 大阪市福島区海老江1-5-51

愛犬愛猫に関する情報 ヒルズホームページ <http://www.hills.co.jp>

※製品のデザイン・重量などは変更することがあります。

2009.04



犬と猫の 腎臓病のおはなし



腎臓病とは

血液中の老廃物をろ過・除去して尿をつくり、体内の水分調節をするという腎臓の機能に障害が起き、血液中の老廃物が蓄積されることにより発症します。腎臓病は高齢ペットに多く見られ、一度障害を受けた腎臓の組織を元通りに回復させることはできません。早期発見による最適な食事管理と治療により病気の進行を遅らせ、ペットをより長く、より良く生活させることが可能です。



※定期的に獣医師の診察をお受けください。

腎臓病の原因

腎臓病は原因となる部位によって次のように分けられます。

■ 腎前性

脱水や貧血、心不全、内分泌障害、フィラリア症などにより、腎臓以外にトラブルが起こり、腎臓へ流れる血液量が変化することで引き起こされます。

■ 腎性

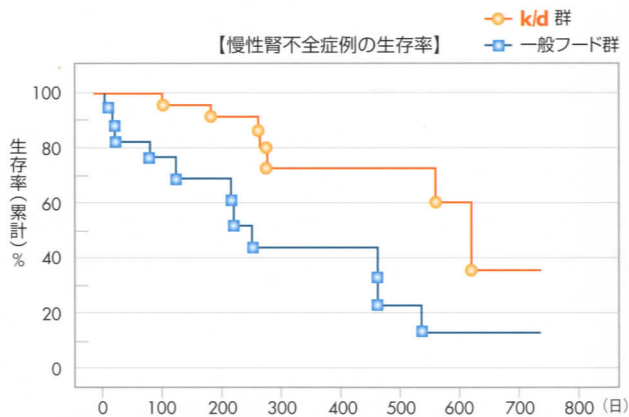
腎臓そのものが障害を受けるケースで、薬物中毒、寄生虫、感染症、腫瘍、外傷、先天的な異常などが原因となります。

■ 腎後性

尿路系が障害を受けることで、尿石症で尿道が詰まったり、膀胱の腫瘍など、排尿が妨げられることが原因となります。

慢性腎不全の犬における食事の影響

慢性腎不全の臨床症状をもつ犬38頭に蛋白質やナトリウム、リンを抑え腎臓への負担を軽くしたプリスクリプション・ダイエット〈犬用〉k/dまたは一般成犬用フードを与え、2年間比較したところ、〈犬用〉k/dは慢性腎不全による尿毒症の発現を遅らせ、死亡率を低下し、生存期間を延長することが実証されました。



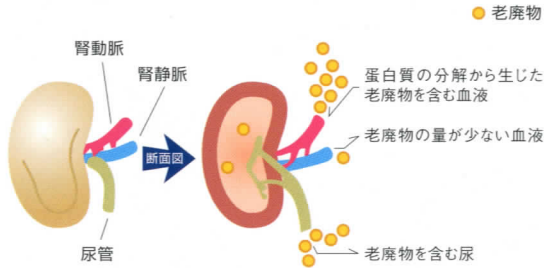
Jacob F, Polzin D, Osborne C, Allen T, Kirk C, Neaton J, Lekcharoensuk C, Swanson L. Clinical evaluation of dietary modification for treatment of spontaneous chronic renal failure in dogs. Journal of Veterinary Medical Association 2002;220:1163-1170

腎臓病のしくみ

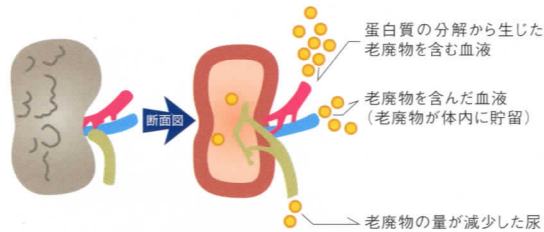
蛋白質が分解されると老廃物が血液中に生成され、腎臓を通過して尿中に排泄されます。腎臓が十分に機能しないと、老廃物の排泄が不十分になり、血液中に老廃物が残ってしまいます。適切な食事管理を行い、蛋白質の量を減らすことによって、腎臓がろ過しなければならない老廃物の量が少なくなり、腎臓の負担を軽減でき、最終的には血液中に老廃物が蓄積するのを防ぎます。

腎臓の働き

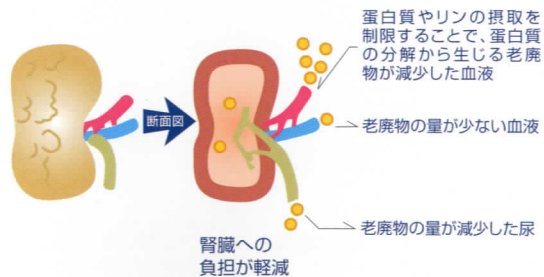
正常な腎臓



疾患のある腎臓



食事管理によりコントロールされた腎臓



! こんな症状が出たら要注意

日ごろからペットの行動をチェックして、以下のような症状がみつかったら、早めに動物病院にご相談ください。

- 食欲が落ちてきた
- 水をよく飲む
- 元気がない
- 嘔吐していることが多い
- 頻繁に排尿している
- 毛づやが悪くなった



🍽️ 食事管理のポイント

- 蛋白質を抑えたフードを与えましょう
窒素性老廃物の量を減らすことができ、腎臓への負担を軽くします。
- ナトリウムやリンを抑えたフードを与えましょう
リンを抑えることにより腎臓病の悪化を遅らせるのに役立ちます。また、ナトリウムを抑えることで血圧の管理を助けます。
- 食物繊維を多く含むフードを与えましょう
窒素を栄養源としている腸内細菌を増やし、アンモニアの発生を抑えるので、血液中の有害物質が低減し、その結果腎臓の負担を軽くします。
- オメガ-3脂肪酸を多く含むフードを与えましょう
炎症に配慮して配合されたオメガ-3脂肪酸は、腎臓の損傷の進行を遅らせるのに役立ちます。

🏠 ホームケア

- 獣医師の指示した食事以外は与えないようにしましょう
- 食欲が落ちている時は、フードを温めたり、手で与えたりしてカロリー補給を確実にしましょう
- 新鮮できれいな水を与えましょう
- ペットの体重、行動、喉の渇き、身体の状態をチェックしましょう。少しでも変化がある時は、すぐに獣医師に相談しましょう